



TOYOTA BOSHOKU

東証プライム 証券コード 3116

2026年度（2027年3月期）

第1四半期 決算説明会

2026.7.31 (Fri)



TOYOTA BOSHOKU

QUALITY OF TIME AND SPACE

目次

1. 今回決算のポイント
2. 2026年度 第1四半期 決算状況
3. 2026年度 通期業績予想
4. 参考情報

目次

1. 今回決算のポイント
2. 2026年度 第1四半期 決算状況
3. 2026年度 通期業績予想
4. 参考情報

本日は、お忙しい中、
当社の2026年度 第1四半期 決算説明会にご出席いただきまして、
ありがとうございます。

はじめに、今回決算のポイント、
続いて、2026年度 第1四半期 決算の状況、
最後に、通期の業績予想をご説明いたします。

それでは、今回決算のポイントについて、ご説明いたします。

1-1) 今回決算のポイント

実績

- ・新製品効果や為替影響はあるものの、
中国での減産や中東情勢に伴う市況影響、諸経費の増加などにより減益

業績 予想

- ・中国での需要変化に伴う減産などにより、前回予想から下方修正
諸経費の低減や合理化などの社内努力を通じて減益の最小化を目指す
- ・先行き不透明な状況の中でも、2030年中期目標達成に向けた人的投資や研究開発、
拡販などの先行投資は、優先順位を判断しながら効率的に継続

株主 還元

- ・配当は前回予想と同様に中間43円/期末43円の年間86円を予定
- ・DOE 3%以上を維持しつつ、連結業績を加味しながら長期安定的な利益還元の実施に取り組む

26年度 第1四半期におきましては、
新製品効果や為替影響はあるものの、
中国での減産や中東情勢に伴う市況影響、諸経費の増加などにより、
前年同期比で減益となりました。

続いて、26年度 通期業績予想ですが、
中国での需要変化に伴う減産などにより、
前回予想から下方修正しております。
諸経費の低減や合理化などの社内努力を通じて、
減益の最小化を目指してまいります。

このような先行き不透明な状況の中でも、
2030年中期目標達成に向けた人的投資や研究開発、拡販などの先行投資は、
優先順位を判断しながら効率的に継続してまいります。

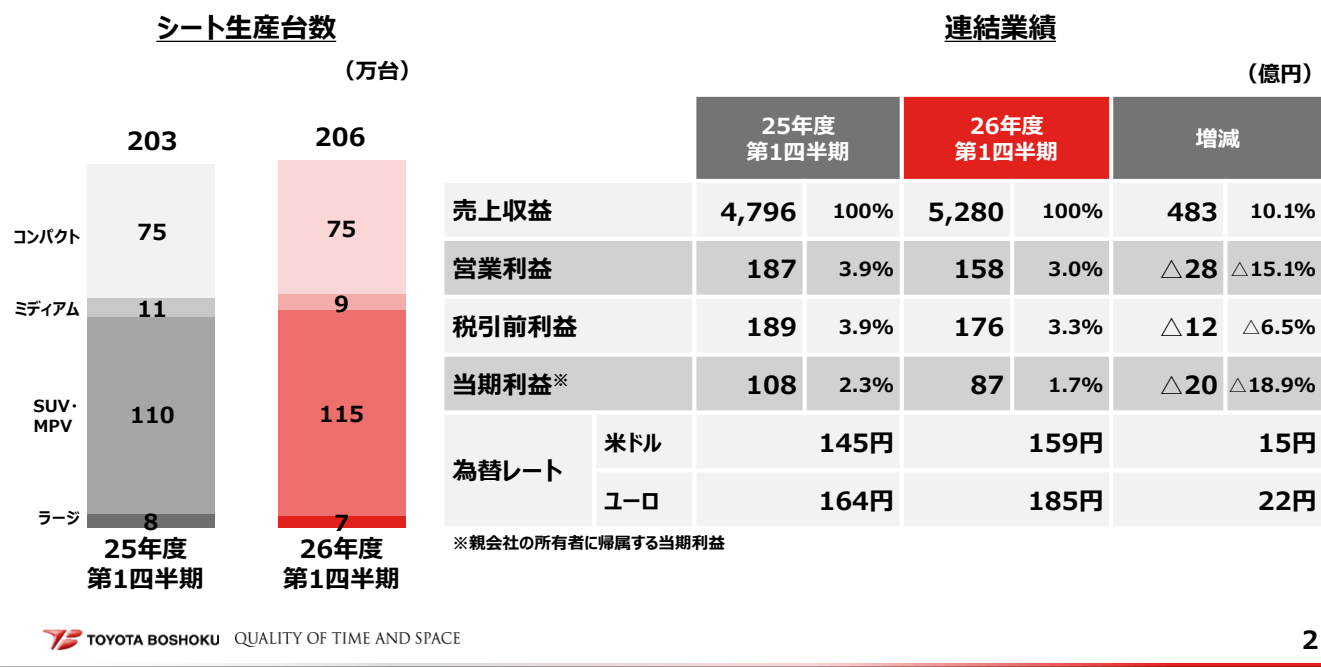
次に、株主の皆様への還元でございますが、26年度 配当金につきましては、
前回予想と同額の年間86円とさせていただきます。

目次

1. 今回決算のポイント
- 2. 2026年度 第1四半期 決算状況**
3. 2026年度 通期業績予想
4. 参考情報

続いて、26年度 第1四半期 決算の状況についてご説明いたします。

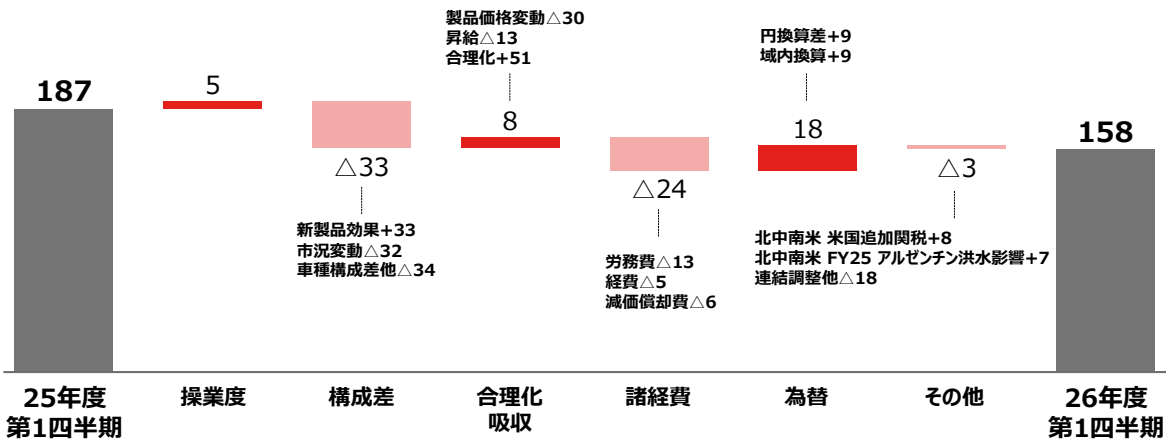
2-1) 2026年度 第1四半期 決算状況 シート生産台数/連結業績



2-2) 2026年度 第1四半期 決算状況 連結 営業利益の増減解析

新製品効果や為替影響はあるものの、中東情勢に伴う市況影響や諸経費の増加などにより減益

(億円)

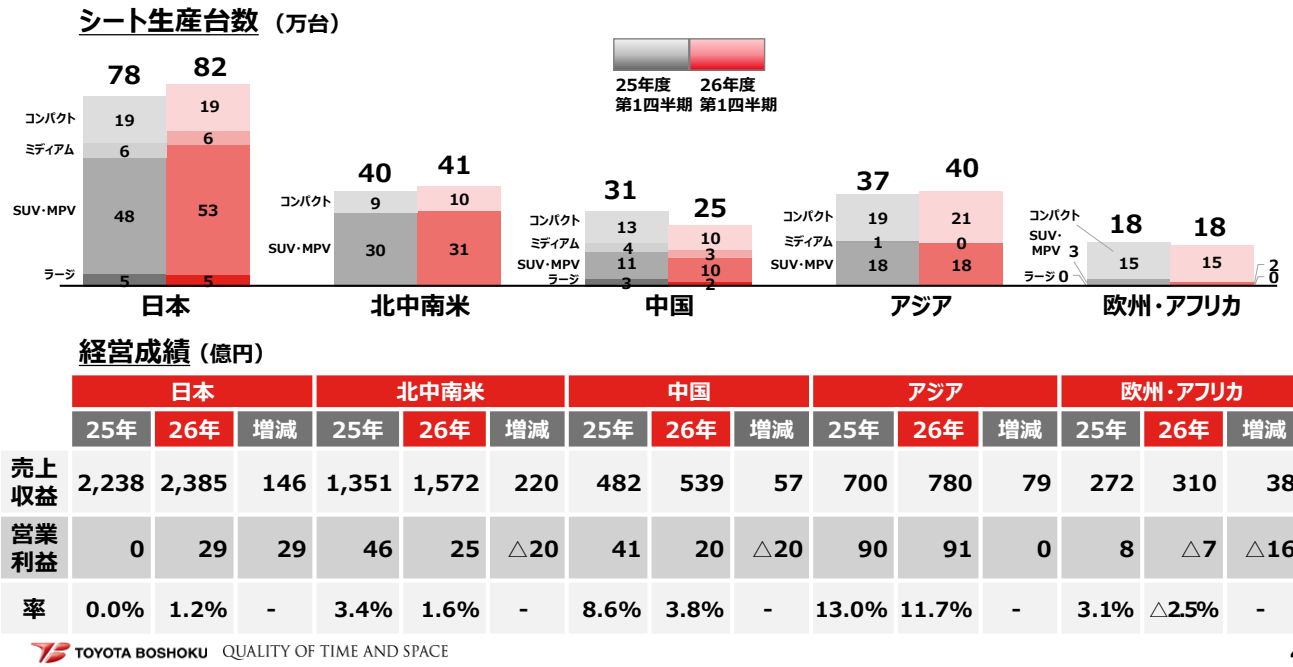


次に、連結の営業利益についてご説明いたします。

営業利益は、操業度のアップや新製品効果により計画通り増益できましたが、中東情勢に伴う市況影響や車種構成の変化による減益影響が上回る結果となりました。

また、合理化により製品価格変動や昇給分は吸収できましたが、主に労務費による諸経費の増加もあり、前期比28億円減益の158億円となりました。

2-3) 2026年度 第1四半期 決算状況 セグメント別 シート生産台数/経営成績



セグメント別のシート生産台数、経営成績について、ご説明いたします。

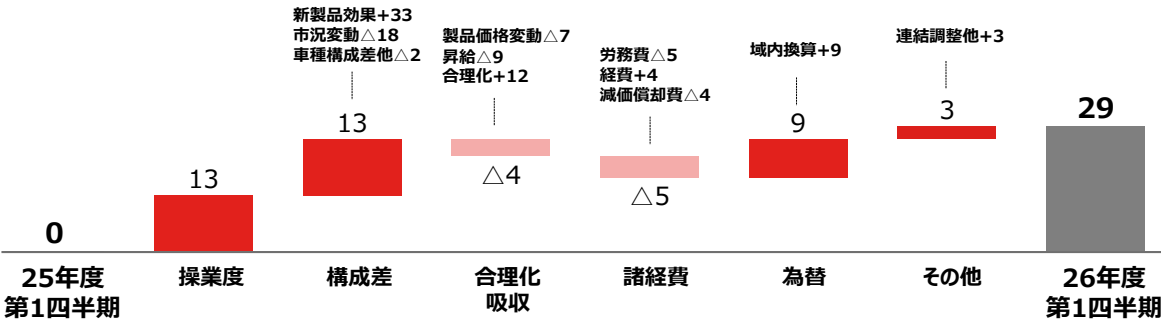
前期比で、
日本は、増産・増収・増益
北中南米は、増産・増収・減益
中国は、減産・増収・減益
アジアは、増産・増収・増益
欧州・アフリカは、減産・増収・減益 となっております。

セグメント別の営業利益解析に関しては、次のページ以降にてご説明いたします。

2-4) 2026年度 第1四半期 決算状況 日本 営業利益の増減解析

中東情勢に伴う市況影響や車種構成の変化はあるものの、新製品効果や増産効果により増益

(億円)



日本の営業利益についてですが、前期比で、29億円増益の29億円となりました。

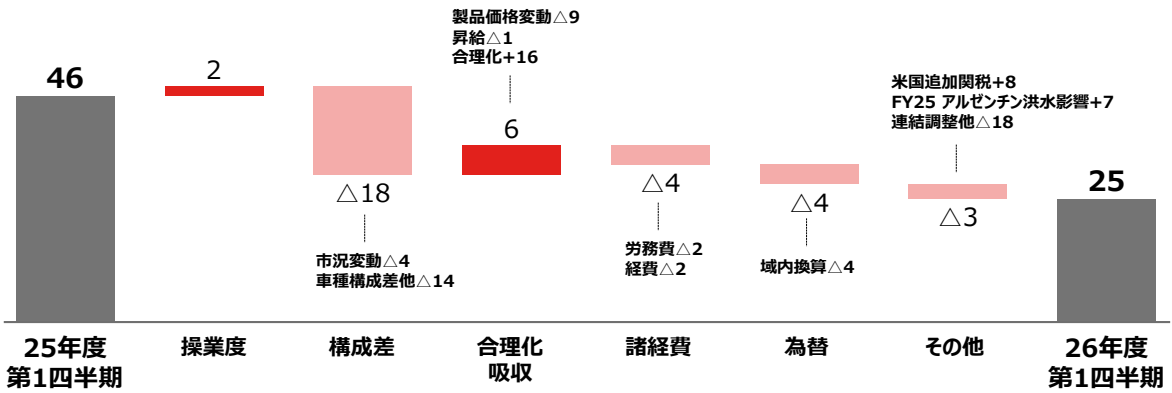
中東情勢に伴う市況影響や車種構成の変化はあるものの、新製品効果や増産効果などにより、増益となりました。

今後も固定費コントロールを強化し、新製品効果や台数増などを確実に増益につなげ、収益力の向上を図っていきます。

2-4) 2026年度 第1四半期 決算状況 北中南米 営業利益の増減解析

合理化や増産効果はあるものの、車種構成の変化などにより減益

(億円)



北中南米の営業利益についてですが、前期比で、
20億円減益の25億円となりました。

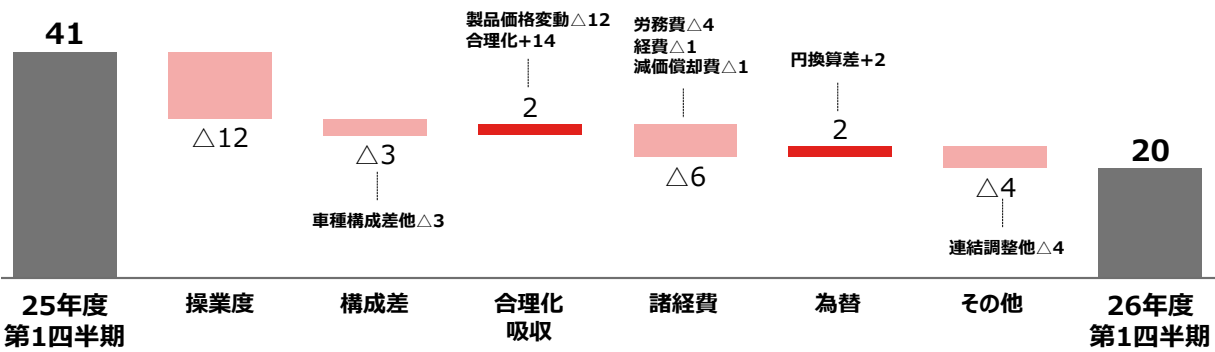
合理化や増産効果はあるものの、
車種構成の変化などにより、減益となりました。

収益改善に向けた取組みを着実に推進しておりますが、
新製品・新工場の増益効果がまだ十分でないため、
引き続きその引き上げを図っていきます。

2-4) 2026年度 第1四半期 決算状況 中国 営業利益の増減解析

需要変化に伴う減産影響や諸経費の増加などにより減益

(億円)



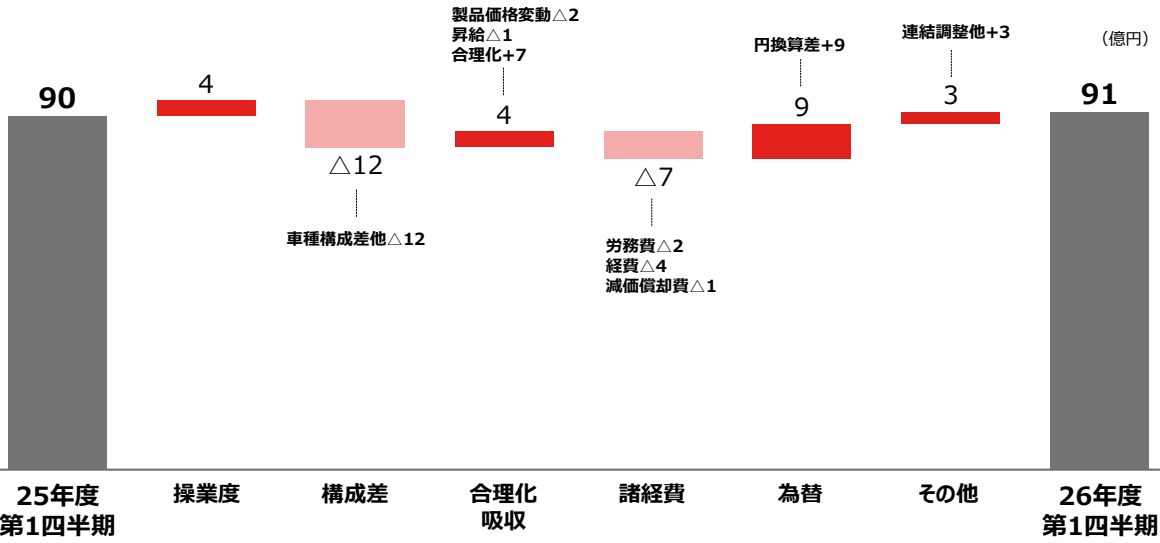
中国の営業利益についてですが、前期比で、
20億円減益の20億円となりました。

需要変化に伴う減産影響や諸経費の増加などにより、減益となりました。

依然として減産局面にありますが、諸経費の効率化や合理化の着実な実施により、
収益確保に取り組んでまいります。

2-4) 2026年度 第1四半期 決算状況 アジア 営業利益の増減解析

車種構成の変化や諸経費の増加はあるものの、新車投入効果や為替影響などにより増益



アジアの営業利益についてですが、前期並みの91億円となりました。

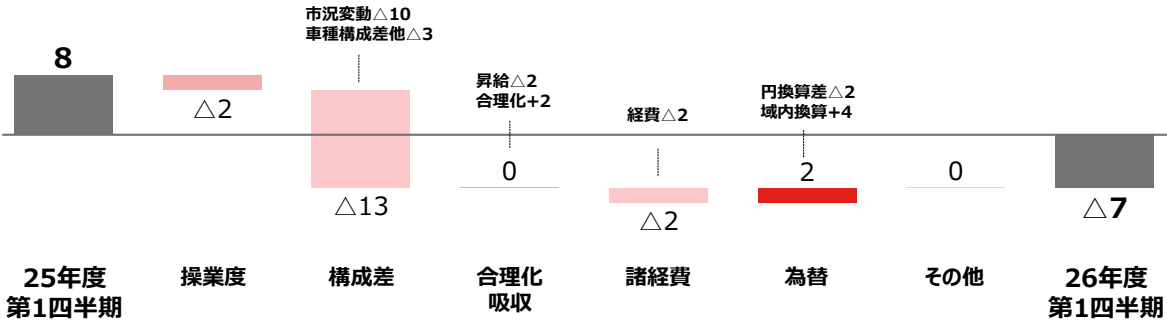
車種構成の変化や諸経費の増加はあるものの、
新車投入効果や為替影響などにより、増益となりました。

諸経費の効率化や合理化を着実に実施し、高い収益レベルを維持しつつ、
将来に向けて、インドでの拡販などに取り組んでまいります。

2-4) 2026年度 第1四半期 決算状況 欧州・アフリカ 営業利益の増減解析

為替影響はあるものの、市況影響や車種構成の変化などにより減益

(億円)



欧州・アフリカの営業利益についてですが、前期比で、16億円減益となり、7億円の営業損失となりました。

為替影響はあるものの、市況影響や車種構成の変化などにより、減益となりました。

市況分の回収や諸経費の低減に努めるとともに、将来の拡販に向けた投資を着実に進め、収益力の向上を図ってまいります。

目次

1. 今回決算のポイント
2. 2026年度 第1四半期 決算状況
- 3. 2026年度 通期業績予想**
4. 参考情報

続いて、26年度 通期の業績予想についてご説明いたします。

3-1) 2026年度 通期業績予想 シート生産台数/連結業績予想

[]内は前回予想

シート生産台数				(万台)		連結業績						(億円)	
						25年度実績		26年度予想		増減			
821				[855] 840									
コンパクト	309			売上収益		20,370	100%	[21,200]	21,000	100%	629	3.1%	
				営業利益		539	2.6%	[800]	760	3.6%	220	40.9%	
				税引前利益		619	3.0%	[830]	800	3.8%	180	29.2%	
ミディアム	47			当期利益※		232	1.1%	[480]	460	2.2%	227	97.7%	
SUV・MPV	433			為替レート	米ドル	151円		[150円]	150円		△1円		
					ユーロ	175円		[180円]	180円		5円		
※親会社の所有者に帰属する当期利益													
ラージ	32			ROE		5.0%			9.1%		-		
				配当金 (配当性向)		86円 (66.0%)			86円 (33.4%)		0円 (-)		
				DOE		3.3%			3.1%		-		
25年度実績				26年度予想									

今回予想は前回予想から売上収益で200億円、
営業利益で40億円下方修正しております。

シート生産台数ですが、
連結全体では、前期比19万台増加の840万台。

売上収益は、前期比629億円増収の2兆1,000億円。

営業利益は、前期比220億円増益の760億円。

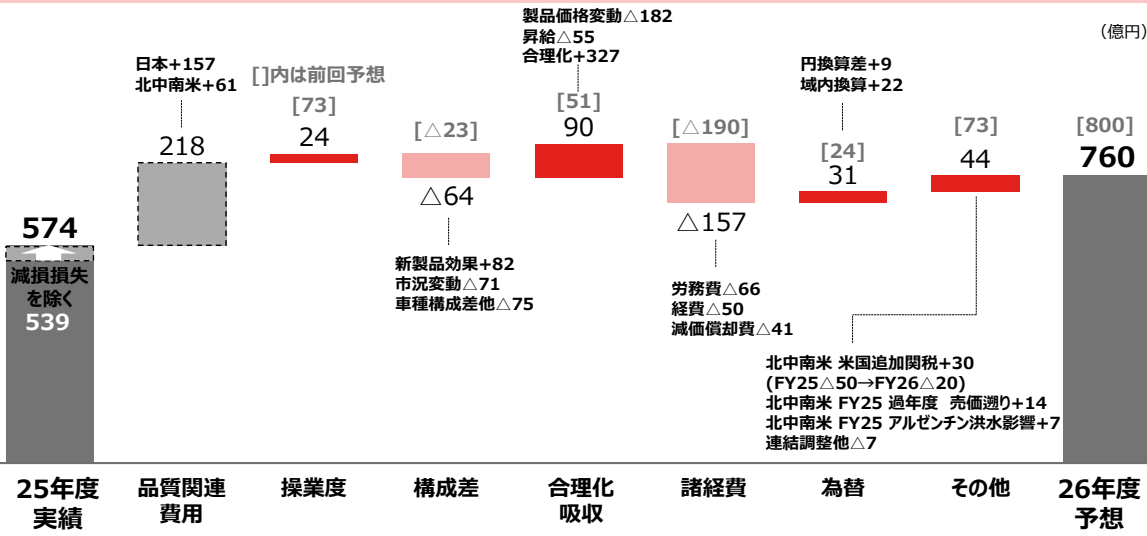
税引前利益は、前期比180億円増益の800億円。

親会社の所有者に帰属する当期利益は、
前期比227億円増益の460億円を、それぞれ予想しております。

為替レートは、1ドル 150円、1ユーロ 180円を前提としております。

3-2) 2026年度 通期業績予想 連結 営業利益の増減解析

新製品効果や収益改善活動などによって成長に向けた原資を確保し、
2030年中期目標達成に向けた先行投資を着実に実施

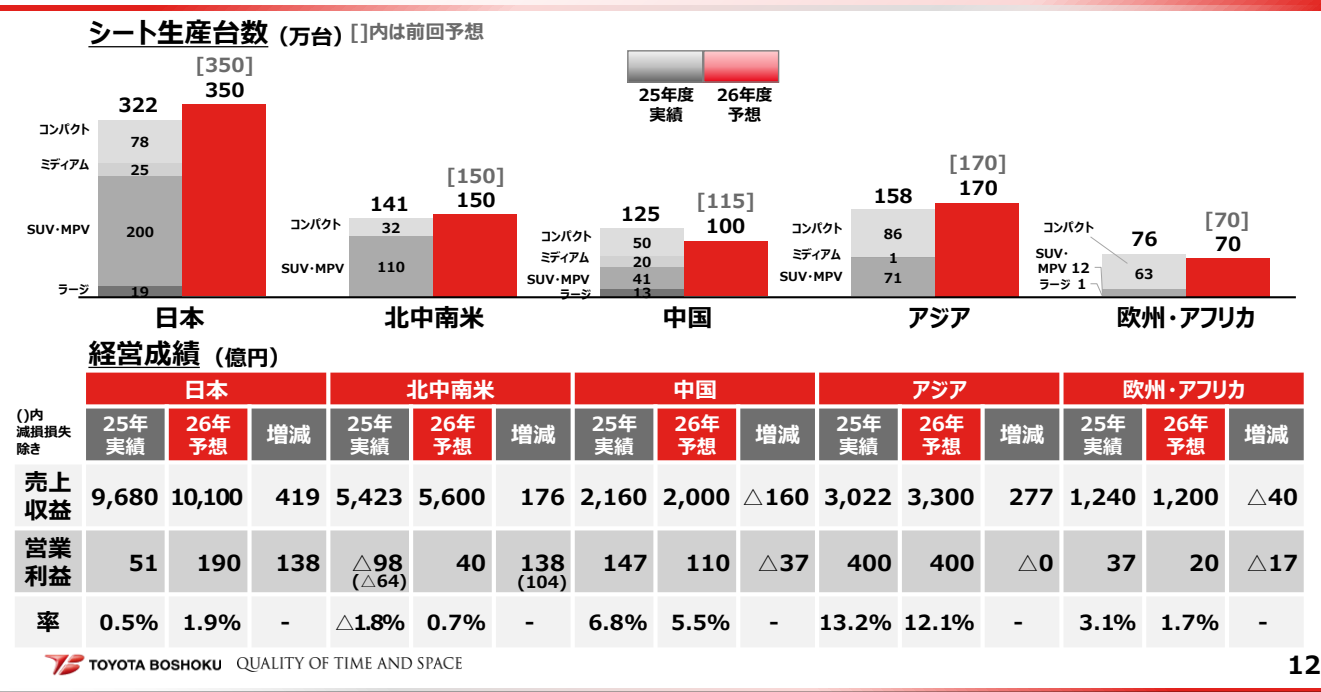


次に、連結の通期営業利益予想について、
前期比での増減分析をご説明いたします。

前年度 減損損失の影響を除いた営業利益574億円に対して、
新製品効果や収益改善活動などにより、
前期比185億円増益の760億円を見込んでおります。

新製品効果や収益改善活動などにより、成長に向けた原資を確保しながら、
2030年中期目標達成に向けた、先行投資を着実に実施してまいります。

3-3) 2026年度 通期業績予想 セグメント別 シート生産台数/経営成績



セグメント別に関しましては、ご覧いただいた通りです。

前期比で、
日本は、増産・増収・増益
北中南米は、増産・増収・増益
中国は、減産・減収・減益
アジアは、増産・増収・減益
欧州・アフリカは、減産・減収・減益 となっております。

なお、期初時点での業績予想と比較しますと、
中国で30億円、欧州・アフリカで10億円、営業利益を下方修正しております。
中国はシート台数を15万台見直した影響が主な理由です。

3-4) 2026年度 通期業績予想 セグメント別・上下別

売上収益 (億円)						[]内は前回予想	
	上期			下期		通期	
日本	[4,900]	5,000		[5,100]	5,100	[10,000]	10,100
北中南米	[2,800]	2,900		[2,800]	2,700	[5,600]	5,600
中国	[1,200]	1,000		[1,100]	1,000	[2,300]	2,000
アジア	[1,500]	1,500		[1,800]	1,800	[3,300]	3,300
欧州・アフリカ	[600]	600		[600]	600	[1,200]	1,200
連結全体	[10,400]	10,400		[10,800]	10,600	[21,200]	21,000
営業利益 (億円)							
	上期			下期		通期	
日本	[80]	90	1.8%	[110]	100	2.0%	[190] 190 1.9%
北中南米	[30]	40	1.4%	[10]	0	0.0%	[40] 40 0.7%
中国	[60]	40	4.0%	[80]	70	7.0%	[140] 110 5.5%
アジア	[180]	180	12.0%	[220]	220	12.2%	[400] 400 12.1%
欧州・アフリカ	[0]	△10	△1.7%	[30]	30	5.0%	[30] 20 1.7%
連結全体	[350]	340	3.3%	[450]	420	4.0%	[800] 760 3.6%

なお、上期・下期の売上収益・営業利益につきましては、ご覧いただいた通りです。

グローバルでの生産動向や中東情勢などの状況を注視しながら、
タイムリーかつ柔軟に経営判断を行ってまいります。

このような状況下ではありますが、
2030年中期目標達成に向けた活動はゆるめることなく、
今後も人的資本や研究開発などの先行投資を優先順位を判断しながら、
効率的に執行してまいります。

以上をもちまして、2026年度 第1四半期 決算の説明を終了させていただきます。

目次

1. 今回決算のポイント
2. 2026年度 第1四半期 決算状況
3. 2026年度 通期業績予想
4. 参考情報

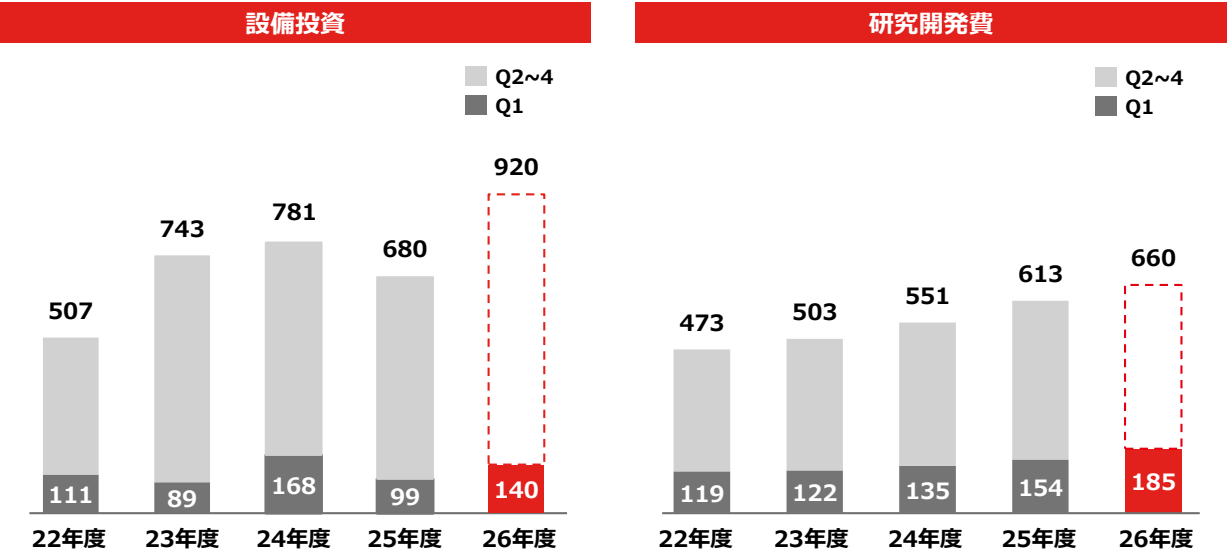
4-1) 参考情報

為替推移（円）

	2025年度 実績					2026年度				
						実績	予想			
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	Q3	Q4	通期
米ドル	144.59	147.49	154.14	156.86	150.77	159.49	-	-	-	150.00
ユーロ	163.80	172.32	179.37	183.67	174.79	185.39	-	-	-	180.00
人民元	19.99	20.59	21.73	22.65	21.24	23.43	-	-	-	21.70
タイバーツ	4.36	4.58	4.77	4.97	4.67	4.90	-	-	-	4.70

4-2) 参考情報

設備投資・研究開発費（億円）



配当推移

		22年度 実績	23年度 実績	24年度 実績	25年度 実績	26年度 予想
配当	中間	35円	43円	43円	43円	43円
	期末	35円	43円	43円	43円	43円
	年間	70円	86円	86円	86円	86円
DOE		3.3%	3.7%	3.4%	3.3%	3.1%
配当性向		89.1%	27.3%	91.8%	66.0%	33.4%

4-4) 参考情報

四半期推移（億円、万台）

		2025年度 実績				2026年度 実績			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
グローバル	シート台数	203	207	210	201	206	-	-	-
	売上収益	4,796	4,925	5,339	5,308	5,280	-	-	-
	営業利益	187	183	232	△62※	158	-	-	-
	率	3.9%	3.7%	4.3%	△1.2%	3.0%	-	-	-
日本	シート台数	78	80	83	82	82	-	-	-
	売上収益	2,238	2,397	2,504	2,540	2,385	-	-	-
	営業利益	0	75	85	△110	29	-	-	-
	率	0.0%	3.2%	3.4%	△4.4%	1.2%	-	-	-
北中南米	シート台数	40	37	34	31	41	-	-	-
	売上収益	1,351	1,291	1,393	1,387	1,572	-	-	-
	営業利益	46	△34	△4	△106※	25	-	-	-
	率	3.4%	△2.6%	△0.3%	△7.7%	1.6%	-	-	-

4-4) 参考情報

四半期推移（億円、万台）

		2025年度 実績				2026年度 実績			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
中国	シート台数	31	32	34	28	25	-	-	-
	売上収益	482	497	623	556	539	-	-	-
	営業利益	41	38	37	29	20	-	-	-
	率	8.6%	7.8%	6.0%	5.3%	3.8%	-	-	-
アジア	シート台数	37	41	39	41	40	-	-	-
	売上収益	700	741	782	798	780	-	-	-
	営業利益	90	96	105	107	91	-	-	-
	率	13.0%	13.0%	13.5%	13.5%	11.7%	-	-	-
欧州・アフリカ	シート台数	18	18	20	20	18	-	-	-
	売上収益	272	283	330	355	310	-	-	-
	営業利益	8	6	8	14	△7	-	-	-
	率	3.1%	2.5%	2.5%	4.0%	△2.5%	-	-	-



<注意事項>

本資料に記載されている将来に関する業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想値であり、不確実性やリスクを含んでおります。
そのため 実際の結果は様々な要因によって業績予想と異なる可能性があります。